

2020年3月29日付 韓国環境部プレスリリース

### 京畿道の野生イノシシからASF ウイルス検出（野生イノシシ 460 例目）

<http://www.me.go.kr/home/web/board/read.do?pagerOffset=0&maxPageItems=10&maxIndexPages=10&searchKey=&searchValue=&menuId=286&orgCd=&boardId=1360825&boardMasterId=1&boardCategoryId=&decorator=>

□環境部所属国立環境科学院(院長チャン・ユンソク)は3月27日に京畿道（キョンギド）漣川郡（ヨンチョングン）旺澄面（ワンジンミョン）2次フェンス内で発見されたイノシシ死体1個体からASF ウイルスが検出されたと3月29日明らかにした。

□国立環境科学院は3月29日死体1個体からASF ウイルスを検出したことを関係機関に通知した。これで漣川郡（ヨンチョングン）178件、華川郡（ファチョングン）177件、坡州市（パジュシ）82件、鉄原郡（チョルウォングン）23件、合計460件のイノシシASF 陽性事例となった。

○野生イノシシASF 標準行動指針により試料採取後現場消毒と共に死体を処理した。

□国立環境科学院は「今回陽性になった死体は環境部捜索チームが山を捜索している際に発見されたものであり、追加感染個体が存在するのかわかるまで捜索を通じて持続的に確認し、死体を迅速に除去して疾病の拡散を遮断する計画である」と明らかにした。

以上